



9月10日は 下水道の日

下水道いろいろコンクール 作品募集

下水道をテーマにした作品を募集します。各部門の中から国土交通大臣賞などの作品が選ばれます。

募集対象・部門

○小・中学生対象

絵画・ポスター、作文、書道、新聞部門

○資格制限なし 標語部門

応募期限 11月9日(火)必着

※作品は下水道業務課が取りまとめて主催者へ送付します。詳しくは、下水道業務課へお問い合わせください。

主催 (社)日本下水道協会、(株)日本水道新聞社

下水道相談所を開設します

排水設備、水洗便所への改造など下水道についての相談に、市の下水道担当職員がお答えします。

日時・場所

- 9月8日(水) 10時～12時
東予農村環境改善センター
- 9月8日(水) 14時～16時
氷見公民館



お問い合わせ先

- 市庁舎本館下水道業務課
下水道業務係 TEL0897-52-1224
- 東予総合支所建設管理課
上下水道係 TEL0898-64-2700



▲下水道整備と市民等の河川保全運動で清流が復活したアクアトピア水系。平成19年には国土交通省の「手づくり郷土賞（大賞部門）」を受賞しました。

での水系2・4キロメートルを、公共下水道雨水路整備事業の一環として整備しました。

アクアトピア水系の整備は昭和61年度から4カ年で行い、自然石による護岸改修や水辺の緑化など「親しみある水辺景観づくり」を進めました。

アクアトピアの整備と、周辺住民の率先した下水道接続によってアクアトピア水系は、鮎がすみ、ホタルも自生する、水の都にふさわしい清流が復活し、市民の下水道接続への意識高揚のシンボルとなりました。

また、水系を美化する市民ボランティア活動も活発に行われるようになり、平成4年には四国初の「河川の清流を守る条例」が制定されるなど、市民、事業者、行政が三位一体となった清流保全活動が取り込まれるようになり、現在に至っています。

1日も早く 下水道に接続しましょう！

市では今後下水道処理区域の拡大を行い、鋭意、下水道整備を進めていく予定ですが、各家庭が接続しなければ、下水道の効果が発揮できません。

市内の下水道は約6万人の方が利用できますが、その利用率は約90%（約5万5千人）です。

下水道が使えるようになった地域の皆さんが下水道に接続することで、初めて地域一帯の生活環境の改善が進みます。

快適で住みよいまちづくりのため、下水道が整備された地域で、まだ下水道に接続されていないご家庭は、1日でも早い接続をお願いいたします。



▲西条浄化センター



▲東予・丹原浄化センター

業化について共同で取り組んでいます。

また、JSは低コストで管理が容易な小規模向けの処理法、窒素やリンなどの蓄積による水質悪化を防止する処理法、省スペースで非常に良好な処理水を得る特殊な膜を用いた処理法などの開発を手がけ、実用化してきました。さらに、下水汚泥のバイオマス燃料化や、世界的な枯渇資源であるリンを下水から回収する技術など、地球温暖化対策や循環型社会の構築をリードする新技術の開発とその実用化に努めています。

西条市の下水道は供用を開始して25年になります。施設の更新など新たな課題に直面しています。今後は、いかに少ない費用で適正に下水道施設を管理運営していくかが重要となってきます。市では、世界屈指の知識や技術を有するJSから効果的な方策を提案いただき、市民の皆さまが安心してご利用いただける下水道事業の運営を進めてまいります。